

東女医大医学務第16015号
平成16年11月1日

各 位

東京女子医科大学
学長 高倉公朋

第四内科学講座主任教授候補者推薦について（依頼）

謹 啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では第四内科学講座二瓶 宏主任教授が平成17年3月31日を以って定年退職いたしますので、後任を選考いたすことになりました。

つきましては、腎臓病全般に造詣が深く、腎臓内科学に関する診療・教育・研究を推進できる方で、貴学ならびに関連の諸機関に候補者として適任者がおられましたらご推薦賜りますようお願い申し上げます。

同教授は本学腎臓病総合医療センター（泌尿器科、腎臓外科、腎臓内科、腎臓小児科、血液浄化療法科の5診療科で構成）の腎臓内科診療部長を担当していただくことを申し添えます。

ご推薦の際は下記書類をご添付下さい。

なお、候補者の方には選考の過程でご来学の上、面接、公開講義をお願いすることがございます。

敬 具

記

1. 提出書類 (別紙参照)
 - (1) 履歴書 1部
 - (2) 業績目録 1部
 - (3) 自己評価書
 - (4) 推薦書 (複数可)
2. 締切期日 平成16年12月10日(金) 消印有効
3. 提出先 〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学 学長宛
4. 書類請求先 東京女子医科大学医学部学務課
電話 03-3353-8111 (内線) 22112

別紙（１）

必要な書類

- (1) 履歴書 (写真添付) --- 学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴に分ける。
相互に重複することは差し支えない。
研究歴の一部に学会活動、研究費の取得状況、受賞等を添える。
診療実績の参考とするために診療歴の別添として、ご自身が過去3年間に外来で診療した患者の主な疾患名とその数を記載して下さい。
- (2) 業績目録 --- 別紙様式（２）による。
これとは別のA4版用紙に、主な原著10編を挙げ、各々の論文の独創的な点について200字以内の説明を加える。また、その10編の論文の別刷を各1部ずつ添付する。
- (3) 自己評価書 --- 教育、研究、診療に関する自己評価書を具体的に記載する。
教育：講義、実習、少人数教育（チュートリアルなど）の経験と、教育に対する考えを記載する（800字以内）。
研究：主なる研究分野とその業績、今後の展望と抱負を記載する（800字以内）。
診療：実績、専門領域、特殊技能などを記載する（800字以内）。
A4版を使用のこと。
- (4) 推薦書（複数可） 教育、研究、診療に関する能力および人物についての詳細な評価がなされていること。

別紙様式

業績目録

氏名

I. 中心となる研究題目

II. 業績数

- | | | | |
|----------|--------------------------|--------|-------------------------|
| 1) 自著論文数 | 原著論文 | _____編 | (英文 _____編、邦文 _____編) |
| | 総説 | _____編 | (英文 _____編、邦文 _____編) |
| 2) 著書数 | | _____冊 | (英文 _____冊、邦文 _____冊) |
| 3) 共著論文数 | 原著論文 | _____編 | (英文 _____編、邦文 _____編) |
| | 総説 | _____編 | (英文 _____編、邦文 _____編) |
| 4) 共著書数 | | _____冊 | (英文 _____冊、邦文 _____冊) |
| 5) 学会発表 | A) 自演 | _____回 | (国際 _____回、国内 _____回) |
| | B) 特別講演・シンポジウム・ワークショップなど | _____回 | (国際 _____回、国内 _____回) |

III. 業績目録 (英文・邦文論文を別々にし、最近の年次からの順に記載。

著者名は全員記載。本人の名前に下線を付す。雑誌名に下線を付す。)

1) 自著論文

(本人が first author になっている論文、または correspondence author として明記されている論文とする。)

◆ 原著 (著者名、題名、雑誌名、巻、頁、年)

英文論文

1)

2)

邦文論文

1)

2)

◆ 総説 (著者名、題名、雑誌名、巻、頁、年)

英文総説

1)

2)

邦文総説

1)

2)

2) 著書 (著者名、書名、出版社、年)

英文著書

1)

2)

邦文著書

1)

2)

3) 共著論文 (自著論文に記載した論文を除く。本人が実質的な研究指導にあたった論文に※を付す。)

◆ 原著 (著者名、題名、雑誌名、巻、頁、年)

英文論文

1)

2)

邦文論文

1)

2)

◆ 総説 (著者名、題名、雑誌名、巻、頁、年)

英文総説

1)

2)

邦文総説

1)

2)

4) 共著書 (著者名、書名、分担項目名、出版社、年)

英文著書

1)

2)

邦文著書

1)

2)

5) 学会発表 (国際学会、国外・国内での特別講演・シンポジウムおよびワークショップなど、重要なもので本人が口演したもののみ)

(A) 通常の学会

(B) 特別講演・シンポジウム・ワークショップなど

IV.用紙 A4版用紙(この用紙に同じ)使用